

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		防犯灯設置事業					
事業の概要		<p>夜間における事故・犯罪を未然に防ぐため、防犯灯について、地元の設置要望を踏まえ全町的に順次整備するものである。夜間の危険箇所を減らすことで、子どもからお年寄りすべての住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに寄与するとともに、本事業の早期完遂を目指すものである。</p> <p><内容> 防犯灯設置 25箇所</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	499	本年度事業費	499	交付金交付額	222
事業評価	事業の必要性	防犯灯については自治会からの要望により順次整備しているが、生活道路はまだ暗いのが現状であり、夜間における事故・犯罪を未然に防ぐため、本事業の早期の実施が希求されている。					
	事業の有効性	防犯灯を早急に設置整備し、夜間の危険箇所を減らすことは、夜間時における事故・犯罪からの最大の予防策となり、暮らしやすく快適な生活環境を創出するものである。					
	事業の効率性	夜間の視界を確保し犯罪・事故を防止することで、子供からお年寄りすべての住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに資するとともに、合併した旧3町の整備状況の差を埋めるものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		住民の防犯意識の高まりとともに防犯灯整備への要望も増し、行政は地域ぐるみの防犯活動を推進するものとして本事業の早期完遂を目指すものである。					
3 リーディング・モデル成果							
4 広域的波及成果							
本事業に加え、住環境や交通ネットワーク等のインフラ整備を関連させて実施することで、住民の定住促進等の効果が期待される。							
5 行財政改革に資する成果							
地元の設置要望を踏まえ全町的に優先順位をつけていくことで、効率的な事業効果を得る。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。